

科目名	現代の国語	単位数	2単位
		学年等	1年生

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>「高等学校 現代の国語」(第一学習社)</p> <p>新訂総合国語便覧(第一学習社)</p> <p>問題集 セレクト漢字検定5級・2級 確認と演習 三訂新版(桐原書店)</p> <p>問題集 新訂版 正しく読み、解くための力をつける現代文 ステップ2(数研出版)</p> <p>問題集 進研WINSTEP現代文1 新課程版(ランズ)</p> <p>問題集 評論要約マスターノート 基礎編(数研出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれている情報の扱い方などの実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	1 評論 「「生きもの」として生きる」 2 小説 「羅生門」 3 評論 「水の東西」 4 小説 「夢十夜」	考査・課題テスト 小テスト	考査・課題テスト ワークシート	週課題 振り返りシート
	評価点	200点	200点	200点
後期	5 評論 「ものことば」 6 評論 「フェアな競争」 7 小説 「城の崎にて」 8 評論 「不均等な時間」	考査・課題テスト 小テスト	考査・課題テスト ワークシート	週課題 振り返りシート
	評価点	200点	200点	200点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	1 評論 「「生きもの」として生きる」	20
	5	文章の内容を叙述に即して的確に読み取り、評論文を読解する基礎的な力を養う。	
	6	2 小説 「羅生門」 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。	
		◆-----第1回考査	
	7	3 評論 「水の東西」	15
	8	構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価し、筆者の意図をとらえるなど、本格的な評論文を読み基本的な読み方を習得する。	
	9	4 小説 「夢十夜」 夢という非日常的な体験が描かれた作品を読むことで、想像世界の広がりを味わいつつ、フィクションのおもしろさを味わう。	
		◆-----第2回考査	
後期	10	5 評論 「ものごとば」 構成や展開の工夫、表現の特色をとらえ、筆者の考えを理解した上で、自己の表現に役立てる。	15
	11	6 評論 「フェアな競争」 筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、現代社会に対する理解を深める。	20
	12	◆-----第3回考査	
	1	7 小説 「城の崎にて」 登場人物の心情や行動、背景などを通して、短編小説のおもしろさを読み味わう。	
	2	8 評論 「不均等な時間」 二項対立の概念を用いた評論を読み、論旨を的確に把握する。	
	3	◆-----第4回考査	

5 その他

○文章を読むことについては、小中学校と変わりはないが、文章の内容が難しく、専門的になってくる。現代文の力をつけるには特に継続的な努力が必要である。問題練習や読書などに努め、継続的に取り組むこと。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	言語文化	単位数	3 単位
		学年等	1 年生

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>「高等学校 言語文化」(第一学習社) 新訂総合国語便覧(第一学習社) 解釈のための必携古典文法 三訂新版(啓隆社) 古文単語330 三訂版(いづな書店) 基礎から解釈へ漢文必携 五訂版(桐原書店) 問題集 新訂版 正しく読み・解くための力をつける古典 ステップ1(数研出版) 問題集 進研WINSTEP古典1 新課程版(ランズ) 問題集 新版 古典文法習得のための用言活用ノート(数研出版) 問題集 新版 古典文法習得のための助動詞マスターノート(数研出版) 問題集 新版 漢文句法マスターノート(数研出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	1 物語 「なよ竹のかぐや姫」(『竹取物語』) 2 漢文入門 「訓読に親しむ(一)(二)(三)」 3 故事成語 「漁父之利」「狐借虎威」(『戦国策』) 4 説話 「児のそら寝」(『宇治拾遺物語』) 5 史伝 「先従隗始」(『十八史略』)	考査・課題テスト 小テスト	考査・課題テスト ワークシート	週課題 振り返りシート
	評価点	200点	200点	200点
後期	6 随筆 「九月二十日のころ」(『徒然草』) 7 中国の思想 「論語」 8 物語を楽しむ 「筒井筒」(『伊勢物語』) 9 日記 「門出」(『土佐日記』) 10 日記 「帰京」(『土佐日記』) 11 漢詩 「江雪」「静夜思」「月夜」「送元二使安西」 12 歌の世界 短歌「その子二十」(与謝野晶子他)俳句「こころの帆」(正岡子規他)和歌「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」 13 史伝 「臥薪嘗胆」	考査・課題テスト 小テスト	考査・課題テスト ワークシート	週課題 振り返りシート
	評価点	200点	200点	200点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	1 物語「なよ竹のかぐや姫」(『竹取物語』) 古文に対する興味や親しみを持つ。	30
	5	2 漢文入門「訓読に親しむ(一)(二)(三)」 漢文に対する興味や親しみを持つ。	
	6	3 故事成語「漁父之利」「狐借虎威」(『戦国策』) 漢文訓読の調子を習熟するよう繰り返し音読み、漢語の意味や句形をふまえて現代語訳ができるようになる。本格的な漢文学習の入門として、故事成語を読む。	
	7	◆-----第1回考査	20
		4 説話「児のそら寝」(『宇治拾遺物語』) 古語辞典を活用して口語訳する。	
	8	5 史伝「先從隗始」(『十八史略』) 歴史的背景の概略をつかみ、史話の面白さを味わう。	
	9	◆-----第2回考査	
後期	10	6 随筆「九月二十日のころ」(『徒然草』) 随筆作品の特徴や文学史的な意義を知り、作者のものの見方や考え方を理解する。	25
		7 中国の思想「論語」 諸子百家に触れつつ、論語を手掛かりとして儒家思想について学ぶ	
	11	8 物語を楽しむ「筒井筒」(『伊勢物語』) 歌物語の特徴や文学史的な位置づけを押さえながら、登場人物の心情を中心に内容を読み味わう。	
	12	9 日記「門出」(『土佐日記』) 仮名日記文学としての文学史的意義を理解し、作者の文章表現の工夫や人間観察の鋭さに気づく。	30
		◆-----第3回考査	
	1	10 日記「帰京」(『土佐日記』) 仮名日記文学としての文学史的意義を理解し、作者の文章表現の工夫や人間観察の鋭さに気づく。	
		11 漢詩「江雪」「静夜思」「月夜」「送元二使安西」 漢詩の形式と表現について理解するとともに、作品世界について鑑賞を深める。	
	2	12 歌の世界 短歌「その子二十」(与謝野晶子他)俳句「こころの帆」(正岡子規他) 和歌「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」 日本独特の表現ジャンルである短歌と俳句について、表現形式や表現技法、鑑賞方法を学ぶ。三大和歌集の歌の特徴の違いを比較しながら、歌に詠まれた世界について鑑賞を深める。	
	3	13 史伝「臥薪嘗胆」 歴史的背景の概略をつかみ、史話の面白さを味わう。	
		◆-----第4回考査	

5 その他

○古典作品には、現代とは異なる文化や考え方の中で、人々がどのように生き、社会を見つめてきたのかということが現れている。古典を学ぶ醍醐味は、古典作品を読むことで、そのような古典の時代の人間観や世界観を味わうとともに、現代を生きる自分自身や日本人の生き方について深く考えることにある。また、現代と異なることばの仕組みや語彙などを知ること、面白みの一つである。より深まりのある学びのために予習を心がけ、積極的な態度で授業に臨むこと。